

|       |        |
|-------|--------|
| 策定年月  | 令和5年2月 |
| 見直し年月 |        |

# 麦・大豆国産化プラン

産地名：山形県遊佐町

（作成主体：いなほ大豆組合）

## 1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

### 《 麦 》

— 略 —

### 《 大豆 》

#### 大豆生産の現状

遊佐町では、大豆の全量が水田を活用して栽培されており、地権者からの委託を受けた作業受託組織が全般的に栽培管理を担っています。

栽培圃場は、水稻等他作物との輪作により連作障害を回避できる一方で、委託者からの指定により決定される場合が殆どであるため、中山間地域等の耕作条件不利地域での栽培を余儀なくされる場合がある他、生産組織の意向が反映されにくいこと等から圃場の団地化が難しく、作業効率や収量・品質低下につながるおそれがあります。

町の地域農業の形態は水稻単作の農業経営が多いため、水田を活用した他品目栽培への個別の取組みが困難だったことから、当組合を含む大豆栽培を中心とする受託組合が町内において複数設立されてきました。

町内の水田活用動向及び実需者からの需要等を踏まえると、今後も町内全体において現状規模以上の大豆生産が見込まれるところであるが、受託組合構成員の高齢化等を理由に、受託面積を縮小する組織も生じているため、生産規模の維持拡大が課題です。

当組合における大豆収量(令和4年)は118kg/10aとなっており、遊佐町の同年産平均収量104kg/10aを上回るものの、都府県平均124kg/10a(令和元年産)、山形県平均155kg/10a(同)に比べてやや低いものとなっています。

遊佐町産大豆は、全量が農業協同組合を通じて加工業者に納入され、味噌、豆腐などの大豆製品となって組合員(消費者)へと販売されている。実需者では、食料自給率の向上を理念のひとつに掲げ、国産農産物の取り扱い拡大に取り組んでいることから、実需者から遊佐町産大豆の増産が求められています。

## 取り組み方針

### (1)需要に応じた生産規模の拡大

地域における国産大豆の生産体制は、他の農産物と同様に農業者の減少並びに高齢化により労働力は減少の一途をたどっており、個別農業者による維持拡大は困難なため、当組合を含む受託組合主体の生産体制を維持していく必要があります。

具体的な取組方針として、高効率の作業機械(ハイクリブーム)を導入し、防除作業の省力化を図るとともに、リタイア世代の短期労働者等多様な人材を補助労働力として積極的に採用し、組織内の労働力確保した上で生産量の拡大を図ります。

### (2)単収向上の取組み

排水、地力等の耕作条件が不利な大豆圃場及び連作圃場の反収が確保できず、地域の大豆単収を押し下げていることから、個別の圃場診断と圃場条件に適した土づくり、圃場管理が求められています。

具体的な取組として、山形県庄内総合支庁酒田農業技術課から管理圃場に関する診断を受けた上で、明渠等の必要な排水対策を講じる他、小畝立てによる播種等新たな取組を実践することとします。また、地力向上による単収向上の取組として堆肥散布を積極的に推進します。

## まとめ

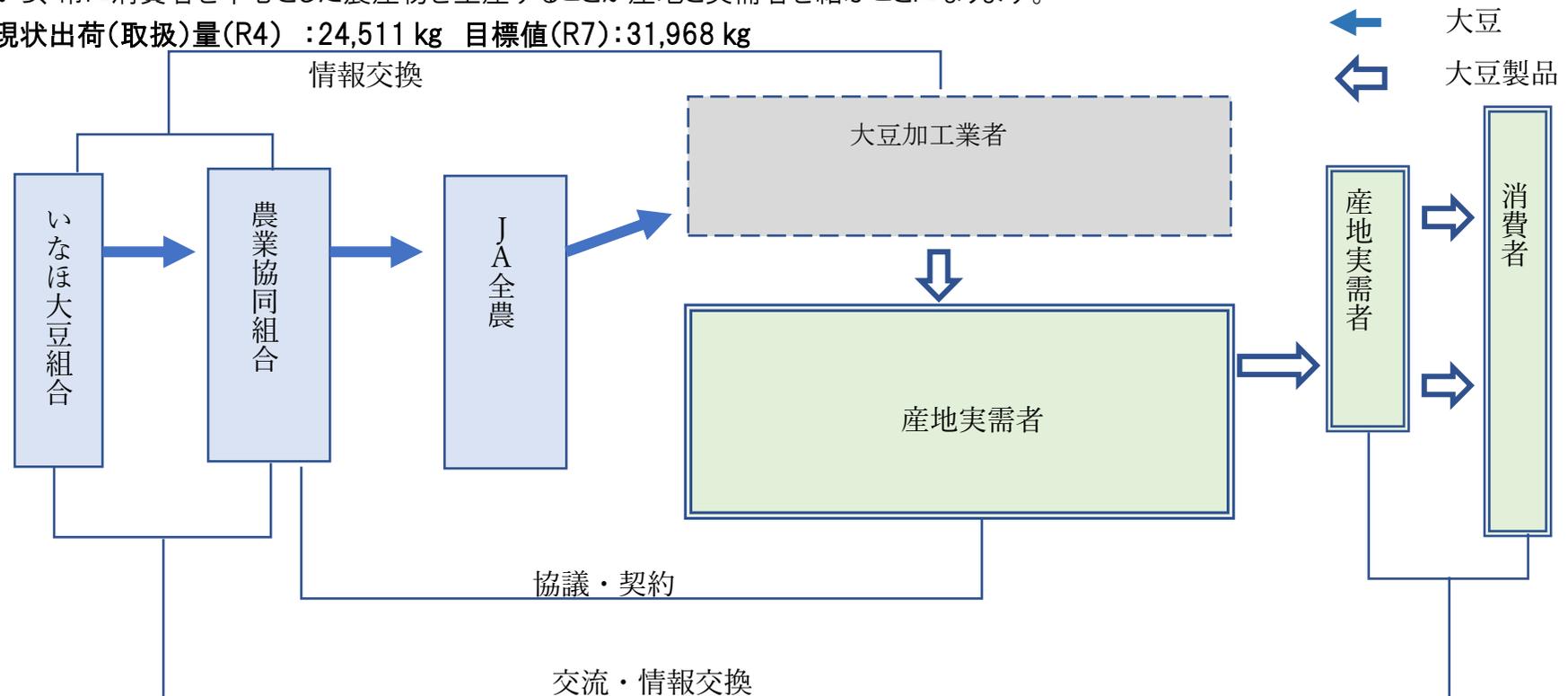
大豆の輸入量や価格に関しては異常気象、紛争など不安定な状況が続くことが予測され、大豆加工業者、消費者への負担が強まることが危惧されます。また、消費者の中には国産に安全と安心を求めて国産への志向もあります。食料の安定供給、生産調整の推進、農地の維持、農家所得の向上など積極的な意味が多数ある大豆栽培はこれからも引き続き増産を目指さなければなりません。行政だけでなく生産者も責任をもって取り組んでいくべき課題です。

※大豆収量の都府県平均と山形県平均は農林水産省ホームページ 大豆関連データ集 4.単収の推移による

## 2. 産地と実需者との連携方針

遊佐町は約 50 年にわたって産地実需者と交流および契約栽培をしてきています。産地消費者との交流では安全で安心な国産農産物への志向が強いことが分かりました。遊佐町では産地実需者との協議の中、減農薬、減化学肥料でのコメの作付けそしてきています。遊佐町のコメの実に約 60%が産地実需者の販売となっています。また、町産農産物は産地実需者から供給量を上回る需要があり、町内生産大豆は、全量が産地実需者関連の加工品向けとなっています。組合員は、大豆加工製品にも国産農産物高い関心をもっていることから、国産大豆及び加工品の品質について、産地実需者の仲介により味噌、豆腐の製造会社と情報交換を引き続き行いながら、常に消費者を中心とした農産物を生産することが産地と実需者を結ぶこととなります。

現状出荷(取扱)量(R4) : 24,511 kg 目標値(R7) : 31,968 kg



### 3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割

